

第3次地域福祉活動計画の策定について

鏡野町社会福祉協議会では、今年度より第3次地域福祉活動計画策定に取り組んでいます。

この計画は、「**みんなが主役のまちづくり～これからもずっと暮らしていきたいかがみの町**」にするために、地域のいろいろな課題を明らかにし、住民や社協、ボランティアなどさまざまな機関・団体が連携し、役割分担を行いながら、福祉課題の解決を目指していくための活動計画です。

【計画策定における重要な取り組みとして】

- 住民アンケート
- 団体ヒアリング
- 住民座談会

令和2年12月頃から順次実施しますので、ご協力よろしくお願いたします。



社会福祉法人 鏡野町社会福祉協議会

鏡野町社会福祉協議会
かがみの社協だより11月号
記事の訂正とお詫び
かがみの社協だより11月におきまして8Pの「寄附」の項目につきまして記載に間違いがございましたので訂正いたします。

訂正前	寄附 (8月受付) ◎香典返し 金封 加藤 清郷(楠) 森江 俊文(大)	訂正後	寄附 (8月受付) ◎見舞い返し 金封 加藤 清郷(楠) 森江 俊文(大)
-----	--	-----	---

地域の皆様にはご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。
鏡野町社会福祉協議会として今後このようなことが無いよう、しっかりとした確認を行ってまいります。

冬のおかやま30・10運動 「おいしく残さず食べきろう！」

(12月1日から来年1月31日まで)

日本では、年間2550万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は612万トンもあるといわれています。(環境省・農水省「平成29年度推計」)

食品ロスを国民一人当たりで換算すると、毎日お茶碗一杯分(約132g)の食品が捨てられていることとなります。「もったいない」と思いませんか?

岡山県では、食品ロスの削減を促進するため、冬のおかやま30・10(さんまるいちまる)運動「おいしく残さず食べきろう！」を実施します。

「30・10運動」とは、「会食時に最初の30分と最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょう。」という取組です。

私たち一人一人が「もったいない」の気持ちや食べ物への感謝の心を大切に、できることから始めてみましょう。

お問い合わせ先 鏡野町暮らし安全課 環境係
担当:沼 電話(0868)54-2780

鏡野町空家等 対策協議会の開催

11月12日(木)に鏡野町役場危機管理センターにおいて、令和2年度第2回鏡野町空家等対策協議会が行われ、特定空家等の認定や、空家等対策について協議されました。

法務、建築、地区長、学者等が協議会委員となり、様々な観点から空家等対策について協議しています。



お問い合わせ先
暮らし安全課生活安全係 担当:長石
電話(0868)54-2621